



「ものづくりを通して地域に貢献したい」という熱い思いをもって仕事に取り組んでいる



独自の技術を生かした「ワンダーエコシリーズ」など、安心・安全なもののづくりを展開する



最新鋭の機械がずらりと並ぶ工場。長年の経験と高い技術力で高品質の葉書を製造する

商業印刷・葉書印刷・エコ事業を柱に地域に貢献

「トキワ印刷」は、大正3年に「荷札製作所」として創業し、現在は須賀川市と東京を拠点に事業を展開している印刷会社だ。4年前に「日進堂グループ」の一員に加わり、地域のさらなるニーズに応える態勢が整った。

同社の強みは、強固なグループ連携と社員一人一人の製品への思いである。ものづくりにかける社員のひたむきな情熱は、厳しい品質管理に直結しており、顧客からの信頼も厚く、葉書印刷にかけては知る人ぞ知る老舗。日本の葉書印刷の歴史を紐解けば「トキワ」の名前が必ず挙がるはずだ。

社内には11台のカメラで印刷面を一度にチェックできる最新鋭の設備があり、1日最大約1,300万枚の葉書を製造できる。また、環境に配慮したオリジナル製品「ワンダーエコシリーズ」を製造。これは印刷工程で発生する古紙や断裁くずを有効活用して緩衝材・断熱材を作るもので、

都内有名店のパッケージの緩衝材にも採用されている。

印刷物+αで世界を変えるものづくりをしよう！

近年の印刷物は、2次元コードを埋め込み、スマートフォンなどと連動させ、観光パンフレットで現地の風景を見ることができると、新たな可能性が広がっている。印刷業界もまさにアイデア勝負の世界だ。印刷物を通して「どうすればお客様に喜んでいただけるか」。そこには資格やキャリアは関係ない。柔軟な若い感性がヒット商品を生み出す可能性もある。印刷物にどのような付加価値を与えることができるかは、あなたの自由な発想と腕次第。福島から世界を変えてしまおうな革新的な提案も可能だ。

同社では、若手社員が新入社員をサポートする教育制度を導入しており、入社後すぐ馴染める環境づくりにも積極的に取り組んでいる。そして、「もの」作りに興味があり、自分が作った「もの」で顧客に喜んでほしいと思う仲間を求めている。

会社情報



- 設立 1947年(昭和22年)
- 代表取締役社長 佐久間 信幸
- 資本金 5,000万円
- 従業員数 123名

〒962-0001
福島県須賀川市森宿字ヒジリ田50
TEL / 0248-75-2145 FAX / 0248-76-8116
<https://www.nisshindo.jp/tokiwa.html>

企業の魅力

- 100年以上続く老舗の確かな技術と経験
- 充実した若手社員教育
- グループ企業のチームワーク

- 求人対象
高卒 専門卒 短大卒 大卒 中途
- インターンシップ
可能 [体験期間] 2022年2月1日～3月31日
[申込方法] 下記メールアドレスへ連絡を

- 採用担当者連絡先
TEL / 0248-75-2145
E-mail / info@tokiwainsatsu.co.jp

業務内容

- 総務本部
人事・労務・財務などの業務を行う
- 営業本部
顧客から仕事を受注し、高品質の商品を提供する
- 製造本部
全国に流通している「はがき」を製造している。他、一般商業印刷も行う
- エコ事業本部
「はがき」の端材を利用したエコ商品を製造。主に、アイスの保冷箱や緩衝材に使用されている

編集部スタッフが見たトキワ印刷株式会社

スタッフの方々の印象は親切で丁寧。また、スタッフ同士の様子を見てみると、部署や上下の分け隔てなくアットホームな雰囲気を感じました。今年新社屋が完成するということで期待が高まります。

職場の雰囲気
動画をチェック！

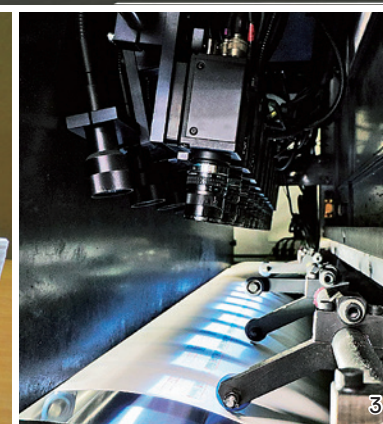


その他、採用情報・
各種申し込み・
問い合わせもこちらから

トキワ印刷株式会社

商業印刷、葉書印刷、エコ事業など

2022年新社屋移転と共に次の時代へ



- 今年、須賀川市内に完成予定の新社屋予想図
- 印刷の仕上がりを入念にチェック。オペレーターの厳しい目が光る
- 全国屈指の葉書の製造ライン
- エコ事業部が展開している緩衝材「ワンダーエコシリーズ」。パッケージ、通販、宅配、輸送などに使われ、地域に貢献している